

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グランアッシュ高槻市北園町	階数	地上13F
建設地	大阪府高槻市北園町323-3	構造	RC造
用途地域	第二種住居、準防火地域	平均居住人員	102 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2015年3月8日
敷地面積	1,436 m <sup>2</sup>	作成者	(株)TOKI設計 安松高志
建築面積	333 m <sup>2</sup>	確認日	2015年3月10日
延床面積	3,061 m <sup>2</sup>	確認者	(株)TOKI設計 鳴戸元基



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 184 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	年数を重ねても、建物自体に風合いがあり、落ち着きを感じられるアースカラーを基調としています。また、金属やガラス素材の採用、シャープ感のある庇とマリオンを計画することによって、地域の景観と調和させつつ風情と都会的なイメージを合わせ持つレジデンスを目指します。	その他 特になし。
Q1 室内環境	Low-eガラスを採用して、熱負荷低減に配慮しました。温熱等級 4 を取得し、住戸内の断熱性能を高めます。	Q3 室外環境(敷地内) プレイロットには、四季折々の植栽を配置し、地域の人々の憩いとゆとりある空間を提供します。
LR1 エネルギー	潜熱回収型のガス給湯器を採用しています。	LR3 敷地外環境 光害への配慮を図りました。
Q2 サービス性能	すべてのタイプのメインベッドルームを10m <sup>2</sup> 以上とし、広々とした空間を提供します。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0125

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)グランアッシュ高槻市北園町 新築工事					
	建設地	大阪府高槻市北園町323-3					
	用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
<b>エネルギー消費量の報告</b>						<b>対象外</b>	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
省エネルギー対策		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.4	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 5.0 住戸・宿泊	4
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.1	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				